

# 相模原市立男女共同参画推進センター指定管理者選考委員会の議事概要及び選考の概要

## < 選考委員会の議事概要 >

### 1 日時

令和5年10月4日(水) 9時30分～11時00分

### 2 会場

相模原市役所会議室棟 2階 第9会議室

### 3 出席者

(1) 相模原市立男女共同参画センター指定管理者選考委員会委員 4名

(2) 事務局(市民局人権・男女共同参画課) 4名

### 4 選考委員会の委員の構成

(1) 学識者(委員長) 1名

(2) 大学教授 1名

(3) 公認会計士 1名

(4) 市職員 1名

### 5 公開の可否

相模原市立男女共同参画推進センター指定管理者選考委員会設置要綱第8条により非公開とした。

### 6 議題

(1) 提案説明会

(2) 書類審査の結果報告

(3) 申請団体の経営状況の確認

(4) 採点

(5) 意見交換

### 7 議事概要

(1) 提案説明会

申請団体からの提案説明を受け、それに対して選考委員会委員が質疑を行った。

ア 特定非営利活動法人男女共同参画さがみはら

(主な質疑応答)

委員：団体の正味財産が乏しい状況であると認識しているが、今後収益を上げるような取り組みをどのように考えているのか、具体的に伺う。

申請団体：現状として事業の在り方や意義などを改めて考えて行く必要があると認識している。今までの基礎は活かしつつ、更なるネットワークの構築や加盟団体の増加等も考えている。今後の事業展開については、コストカットも念頭に

置きつつ、市民に男女共同参画を推進していきたい。

委員：支出を削減するだけでなく、収入も上げることは難しいことだと思う。例えば大学に声をかけ、学生ボランティアなどの活用も考えられ、様々な事業に学生が参加することで、学生にもメリットがあると思う。

申請団体：施設を利用していただくために、様々なことを検討している。企業などにも施設を知っていただき、利用していただくことで、新たな分野での活用にも繋がって行くものと思う。そのためには、利用方法を知っていただくための広報活動が重要であると思う。

委員：男性を対象にした事業展開が必要であると思うが、男性を対象にすると技術的な部分に重きを置いた事業が多い印象を受けるが、性別役割分担意識の解消を目的とした事業展開をどのように考えているか。

申請団体：実技にシフトした事業を行い、男女共同参画の意識付けをしていきたい。今まで以上に、男性の視点に立った事業を実施したいと考えている。

委員：長年、男女共同参画に関わってこられ、本市の男女共同参画に対する変化をどのように感じているか。また、現状の課題をどのように認識しているか伺う。

申請団体：女性活躍の推進とともに、男性を対象とした事業も重要であると考えている。男女共同参画を推進する取り組みは、すべての分野においてリンクされるものであると思うので、男女活躍推進として取り組んでいかなければならないと思う。

(2)書類審査の結果報告について事務局より説明を行った。

(3)申請団体の経営状況について公認会計士より説明を行った。

(4)各選考委員会委員が評価基準に基づき採点を行った。

(5)事務局から申請団体の合計得点を伝え、選考委員会委員で意見交換を行った。

(主な意見)

- ・施設の利用実績が上がらないと収入増は見込めないが、コロナ禍で落ち込んだ利用実績が、コロナ禍前の実績までの回復はなく、今後も見通しが立たない状況であると思う。コロナの影響が残っている中では、今後を注視していくということによりよいと思う。
- ・自主事業で黒字にしていくことは必要なことである。施設の利用率を上げるには、更なる施設のPRが必要と考える。

選考委員会は申請団体名をブラインド化しており、当日はA社としていたが、議事概要では申請団体の名称を使用している。

## < 選考の概要 >

### 1 選考結果

特定非営利活動法人男女共同参画さがみはらを指定管理者候補団体とすることとした。

### 2 選考理由

(1)評価基準に基づく各選考委員会委員の採点の結果、最低基準点を超え、かつ高い得点を得たこと。

- (2) 各評価項目において、施設設置目的に照らして適正な施設運営が行われる水準を満たしており、かつ、市民サービスの向上が図られるものと評価したこと。
- (3) 候補団体の経営状況がおおむね良好であり、継続的な管理運営が期待できること。

### 3 評価基準・評価結果

指定管理者候補団体（特定非営利活動法人男女共同参画さがみはら）の評価基準に基づく評価結果は、次のとおりです。

評価項目		配点	候補団体
事業計画書に対する評価			
内訳	指定管理者の適正	20	15
	管理運営方針	20	14
	地域活性化	20	15
	事業計画（自主事業を除く）	60	45
	自主事業	40	28
	利用者ニーズ	20	13
	維持管理計画	20	14
	人員配置	40	28
	安全管理及び緊急時の対応	40	28
	適正な管理・経理	20	13
小計		300	213
収支計画・経費的效果に対する評価			
内訳	収支計画の妥当性	20	10
	指定管理料の削減	20	12
	利益の還元	20	4
	小計	60	26
管理能力に対する評価（団体本体に対する評価）			
内訳	団体の経営状況	20	8
	団体の管理能力	20	14
	労働環境の適正性	20	13
	小計	60	35
合計		420	274

合計得点における最低基準点は236点としました。